

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	59	学校名	宇都宮市立 上戸祭小 学校
-----	---------------	------	----	-----	---------------

平成30年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

心身ともに健康で日本及び国際社会に貢献できる人間の基礎的な資質を養う。

(2) 具体目標 (具体的な児童生徒像など)

心身ともに健康でたくましく、創造力と実践力に満ちた、心豊かな児童の育成

－自分や他人を大切にする子ども・進んで学ぶ子ども・たくましく生きる子ども－

2 学校経営の理念

＝合言葉：学ぼう 遊ぼう 友だちと＝

人間尊重の精神を基盤としたあらゆる教育活動を通して、学校教育目標に掲げた児童の育成を図る。そして、児童が社会の中で自分の能力を発揮し自己実現できるようにするために、「できなかったことができるように、分からなかったことが分かる」ように、児童と教師と学校の power up を図る。

3 学校経営の方針

- (1) 児童の power up のために、個に応じた指導を充実させ、保護者と連携して家庭学習の習慣化を図るとともに、社会性の育成を推進する。
- (2) 児童の power up を支える教師の power up のために、校内研修を計画的・継続的に実施し、授業力の向上を図る。
- (3) 教師の power up を支える学校の power up のために、地域や保護者への情報提供と地域の教育力を生かした取組の推進を図る。

【星が丘地域学校園教育ビジョン】

未来を見つめ、学び続ける力の育成
～星が丘地域学校園の学校文化を築くことを通して～

4 今年度の重点目標 (「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

- ・ 未来を見つめ、夢と希望に満ちた学校づくり

(2) 学習指導

- ・ 「読んで・わかって・伝える力」の育成

○ 意欲的に学び続ける児童の育成

- ・ 「かみと学習マニフェスト」による学力向上 (学習ツール開発, 学年目標設定 等)

(3) 児童生徒指導

○ あいさつと言葉遣いを重点とした、望ましい生活習慣と正しい判断力の育成

- ・ 互いのよさを認め合い、他人を思いやることのできる児童の育成

(4) 健康 (体力・保健・食・安全)

- ・ 自らのめあてを明確にし、進んで体力向上に取り組む児童の育成
- ・ 児童の健康な生活習慣の定着

(5) 教職員の働き方改革

- ・ 退勤時間の管理と「業務見直しチーム」の設置

5 学習指導、児童生徒指導、健康 (体力・保健・食・安全) に関する取組

※ 様式2～4 参照

6 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力（地域学校園内で共通するものは、文頭に○）

○未来を見つめ学び続ける力の育成 ・豊かな社会性の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

① あいさつと笑顔があふれる「楽しく学べる学校」

- ・基礎・基本の定着（国語，算数，家庭学習を中心として）
- ・「わかる喜び」「できる喜び」「協力し，成し遂げる喜び」を味わわせる授業の展開

◇互いの意見を伝え合い，学び合う活動の充実

- ・心の通うあいさつと相手を思いやる言葉遣いの励行
- ・運動の楽しさを味わわせる活動の工夫

② 豊かな心を育む「安全で潤いのある学校」

- ・児童のよさを認め，励まし，賞賛する運動の充実（帰りの会，掲示物の活用）
- ・異学年交流等を通じた規範意識の醸成
- ・四季を通じた花いっぱい運動の展開（ゼラニウム栽培・学年花壇）
- ・潤いのある環境の整備（児童絵画の掲示，かみと水族館，緑陰読書）

③ 地域の教育力を活かした「地域とともに歩む学校」

- ・各種学校支援ボランティアの効果的な活用
（ふれあい地域協議会，放課後子ども教室（かみタマ）の活性化）
- ・地域とのかかわりを生かした学習活動の充実
（社会に開かれた教育課程の実現と地域と学ぶ活動の積極的導入「生活科，総合的な学習の時間等への地域の参画」「地域と学ぶ日，ありがとうの日の設定」）

7 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

地域社会との連携・協働によりその実現を図る「社会に開かれた教育課程」具現化のため，これまで本校が取り組んできた教育活動の改善・充実を進める。

②主な取組

- ・地域に学ぶ活動の積極的導入
「総合的な学習の時間等への地域の参画」「地域と学ぶ日，ありがとうの日の設定」

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

小中学校による「縦のつながり」と学校と地域の「横のつながり」を生かして，子どもの学び続ける力を身に付けるとともに，家庭との連携により学びの習慣を定着させる。

②主な取組

○カリキュラムの地域学校園化と実践

- ・学習部会，教科分科会を通じた「身に付けたい力」「重点単元」等の見直し
- ・豊かな心を持ち，主体的に生きる児童を育てる「宮っ子心の教育」の推進
- ・特別活動を中心に人とふれあう活動を実施する「宮・未来キャリア教育」の推進

(3) 不登校対策

①基本的考え

不登校傾向のある児童に対して，組織的な対応により早期発見，早期対応に努めるとともに，対応が必要な課題に対しては職員間の共通理解を十分に図ることで，学校体制により不登校の解決を目指す。

②主な取組

- ・IFC 支援シート作成による実態の把握と課題の明確化
- ・対象児童に対する感情の言語化と目標設定の促進
- ・対象児童，教職員による課題解決に向けた取組（スモールステップ目標設定と共有）
- ・予防的解決の推進（職員間の情報共有と道徳，特別活動等を通じた自己肯定感の育成と学級における支持的風土の醸成）